

令和5年7月 吉野町教育委員会定例会議 会議録

日時：令和5年7月21日（金）午後14時00分～ 場所：町中央公民館2F第1研修室

出席者：吉野町教育委員会 教育長 教育長職務代理者 委員3名

事務局 4名

1, 開会挨拶

2, 審議案件

議第1号 後援名義の申請について

名称 くにすの杜マルシェイベント 【資料1】

申請者 国栖地区自治協議会 上森 昌昭 国栖の里観光協会 植 浩三

質疑応答・異議なく、全会一致で承認。

議第2号 令和6年度以降使用小学校教科書の教科書採択について 【資料2】

質疑応答・異議なく、全会一致で承認。

議第3号 吉野町立認定こども園の具体的方策について 【資料3】

委員：説明会をして頂いて、保護者の意見は出ているが、全体的な雰囲気はどうなのか、特にわかばは結果的には移る方なので、移る側のわかばの保護者の意見は、今の段階では文章では出にくいがどういう状況なのか。

事務局：大きくは反対、1園化は困るという意見はない。時期的にもう少しゆっくりしてもいいのではないかという意見がある。

委員：特に保護者から1園化に向けて意見はなかったのか。

事務局：通園・制服などの話があった。通園についてはバス4台で町内全域を、短い時間で通園する体制を整えることについて心配はない。改修をして、10年くらいはよしのこども園で運営していくが、その先は決まっていない。保護者の方には、今回よしので1園化することを、概ね理解して頂いている。

委員：資料3-②で町内2つのこども園を令和6年4月よりよしのこども園へ1園化することを1番上に掲げてある。これを見た時に1園化を目的として進めているように捉えられる。1園化は目的ではない。地域の子どもたちを育てるための策であることを打ち出して、理解を得る努力をして行くことが大切である。

事務局：わかばの園児の数が減って来た課題解決もありますし、町で子どもたちの保育をどうしていくのか、より多くの方に吉野町の保育に興味をもって頂いて、吉野で子どもを育てたいという方が一人でも生まれるような教育・保育をすすめるのが大事。方策のところを解りやすくということですね。

委員：1園化した時にどのような子どもたちを育てたいのかをわかりやすくした方が共感を得やすい。共感者を一人でも多く得られるような内容にしてはどうか。

教育長：資料3-②の1行目については検討する。子どもの成長には子ども同士で成長し合う集団が必要だと振興審議会では指摘されてきたので、振興審議会が示すその方向に進んで来た。目指すところ（夢）をみんなと共有出来たら力になるというご意見を頂いた。

委員：7月14日のこども園部会へはわかばの参加が多かった。わかばの関心は高い。少人数から大きい所に行くのは不安が大きい。少数の不安材料を、丁寧に同意を

求めていって1園化に向かっていくのが良い。

委員：わかばの保護者は、不安があるだろうし、もう少し早く聞いていたら、保育に預ける時期もいろいろあっただろう。全部の方に理解してもらって満足してもらうことは無理がある。たくさん意見を頂いたので、出来ないことは説明をして、保護者が意見を言いやすい体制は必要。

教育長：幼児期に必要な事は読み書きではない。非認知の力・・・自然と触れ合って自分自身を自然の中に置いてみて感じる事が一番大事。また、わかばの先生がよしのに移ってきた時に吉野町全体の先生の余裕が高まる。

委員：吉野で育って社会で活躍している人多い。三井物産社長、奈良交通の社長会長された方や、三菱信託の組織をつくられた方等・・・身近に有名な組織で働いている方が町内ではたくさんいる。吉野町には教育の基盤があるそのことを引き継いでいってほしい。

教育長：今後、7月末に第5回、8月の末には最終の第6回振興審議会をさせて頂き、その前後に教育委員会で説明をさせて頂きご意見を伺う、最終的には振興審議会の意見を受けて、町の総合教育会議にかけて確定させる流れになる。最終9月の議会で報告する。

議第4号 吉野中学校における休日等地域スポーツクラブ活動について【資料4】

委員：兼職兼業で指導員になってもらう先生方がいるが、教師が兼業するのは法にふれないのか。報酬もあるのか。

教育長：兼職兼業なので報酬は出る。

委員：休日や祝日に大会に出た場合も報酬はあるのか。

教育長：基本は教師の働き方改革なので、無理にやりなさいという話ではない。やりたい方にやってもらう。やりたい方から奪うのではなく、兼職兼業でやっていただく。

事務局：今の段階は管理職との話で、本人から同意を得ているわけではない。

委員：カヌー部に関しては、土曜日に小学生対象のカヌークラブも開催されているが、そこの指導者も今本先生か。

事務局：今の部活動の指導も今本先生と一緒にしている。制度としては小学校の教室と地域移行の中学校カヌー部の活動を一緒にやっているイメージである。

委員：人数が増えると危険が伴うので、今本先生一人で安全面は大丈夫か。

教育長：一人ではない複数名でやっている。地域スポーツクラブを吉野中学校の話としているが、他の市町村の子が加入して試合に出るのはあり得る。ここが中学校の部活動と認識が違う。特に山間部でいろいろな競技をしたいがやれない子たちにとってはチャンスを与えるのにいい方法である。

3. 報告案件

報第1号 教育総務課事務事業の進捗状況について・・・【資料5】

報第2号 生涯学習課事務事業の進捗状況について・・・【資料6】事務局説明

4. その他事項

次回の会議 日時：8月31日木曜日午後13時30分～場所：町中央公民館4F教育長室

5. 閉会挨拶